

## 平成28年度 学校評価結果について

平成29年2月に、保護者・生徒を対象に学校評価アンケートを実施し、海陽中学校の教育活動に対する満足度を調べました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。集計結果をもとに平成28年度の学校評価をまとめましたので公表いたします。

## 1 保護者へのアンケート調査

次の14項目(カッコ内は生徒への質問)の質問に対して下の4段階で回答していただきました。

\*今年度より設問3・4の内容を変更しました。

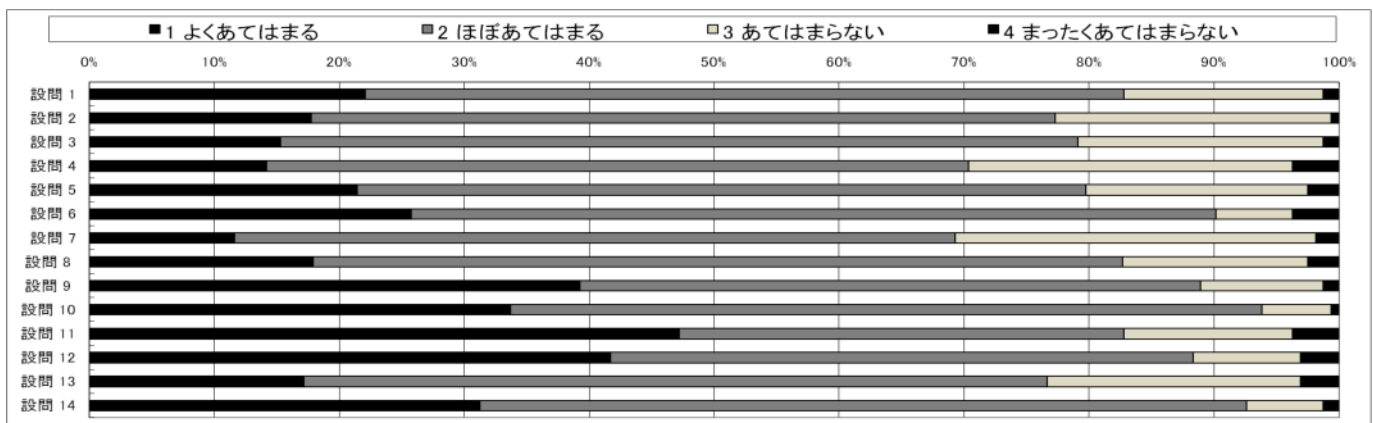
1 よくあてはまる 2 あてはまる 3 あてはまらない 4 まったくあてはまらない

- 1 生徒の生活・学習面での健全な発達を考え、个性的で魅力的な学校づくりができています。
- 2 学校の教育に関する施設・設備は十分である。
- 3 いじめや生徒指導上の課題に迅速かつ適切な指導ができています。
- 4 生徒の課題や変化を見逃さず、粘り強く指導するなど熱意のある教職員が多い。
- 5 生徒は夢や目標に向かって積極的に取り組んでいる。
- 6 生徒は学校や学級のきまりを守っている。
- 7 各教科においてわかる授業を工夫して実施している。
- 8 生徒の学習成果を公平に適切に評価している。
- 9 中学校の学校行事は生徒にとって楽しいものとなっている。
- 10 中学校の学校行事は、学級のまとまりや伝統の継承に役立っている。
- 11 部活動担当教員は、熱心に指導している。
- 12 生徒は部活動に意欲的に取り組んでいる。
- 13 学校からのさまざまな情報は十分に提供できている。
- 14 参観日や面談(回数・内容)などは適切である。(14 学校でのできごとなどを家族によく話す。)

結果と考察

調査実施日 平成29年2月1日から1週間

回収率 95.3%



設問の平均回答は次のとおりとなっている。 1=25.5% 2=57.0% 3=15.4% 4=2.1%

- (1) 全体の平均肯定率は82.5%であり昨年度より向上した。肯定率80%を越える設問は1・6・8・9・10・11・12・14の8項目であり昨年度と同数である。これ以外の設問2・3・4・5・13は、肯定率が70%を越え、設問13は昨年度から6%向上している。しかし、設問7は昨年度より低下し69%にとどまった。
- (2) 課題は、評価が不十分な設問4・7に表れている学習指導・生徒指導である。  
学習指導では、「わかる授業」をめざし教員の資質向上と授業改善や落ち着いた学習環境の実現に取り組む。また、家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化を図り、学力の向上をめざす。生徒指導では、生徒の変容への素早い対応や生徒の特質や課題に応じた粘り強い指導を充実させていく。また、学年や全体で課題を明確にし方針を共有した組織的な取り組みを推進し、さらに充実した学校生活の実現をめざす。
- (3) 成果としては、生徒アンケート結果とは異なる傾向となったが、従来からの課題であった設問5に表れるキャリア教育への評価が向上した。引き続き、キャリア教育では他の教育内容との関連を明確にし取り組むとともに、総合学習の全体計画や内容設定の改善に取り組み、自己有用感や目標に向かって努力する力の育成を図る。
- (4) 全体平均が80%を越えていることから、学校の取り組みに対して一定の評価をいただいていると考えられるが、部活動に関する設問など80%を越える肯定率の中にも、保護者の評価に差がある。引き続き、人づくりの視点に立った部活動の充実に取り組み保護者の理解と協力を得ていく。

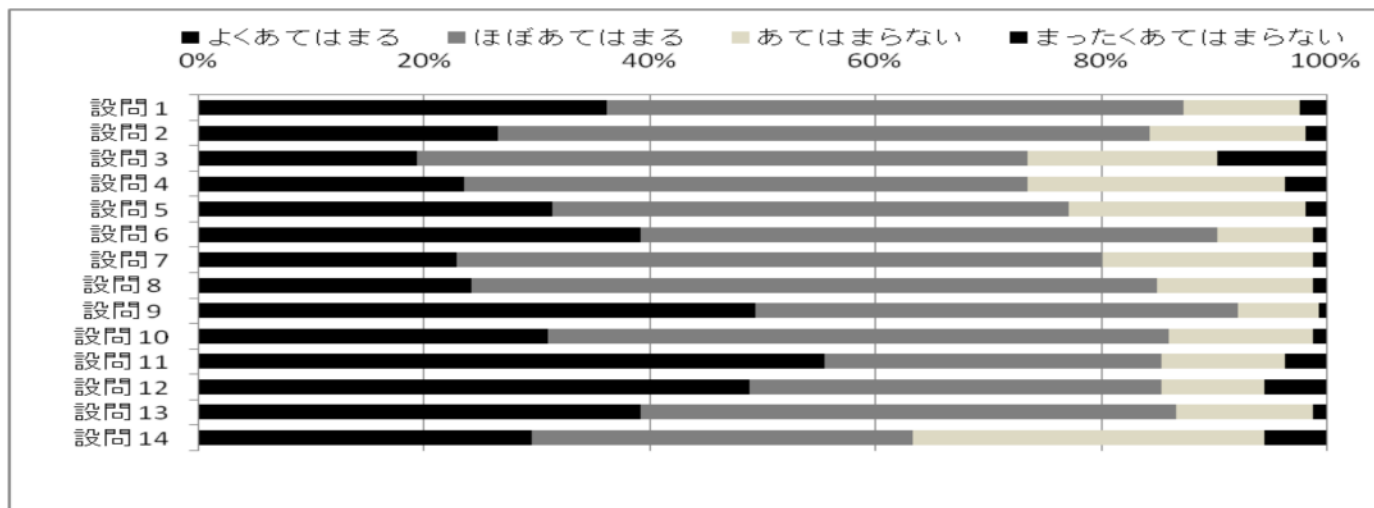
## 2 生徒へのアンケート調査

保護者への質問項目に類似した14の設問に対して下の4段階で回答してもらいました。アンケート項目は紙面の関係で省略します。

結果と考察

調査実施日 平成29年2月

実施率 97.1%



全設問の平均回答は次のとおりとなっている。 1=34.0% 2=48.1% 3=15.0% 4=2.9%

- (1) 全体の肯定率は82.1%であり、昨年度から4%の減である。肯定率が80%を超える設問は14の設問中10問であり、その内90%を越える設問は、設問6(学校のきまりを守っている) 9(学校行事は楽しい)の2項目である。
- (2) 肯定率が70%~80%になる設問は3問あり、設問3(いじめや他の問題に毅然と優しく公平に指導) 設問4(親身に粘り強く指導) 5(夢や目標に向かって積極的に取り組んでいる)である。設問14(学校のできごとなどを家族によく話す)は肯定率が63%にとどまった。昨年度との比較では7%減である。また、設問7は80%に達したが他の設問に対して低い肯定率に止まっている。
- (3) 全体の肯定率が80%を越えていることから、大部分の生徒は充実した学校生活を送ることができていると考えられる。しかし、設問3・4・7に表れる生徒指導や学習指導が課題であり、これは保護者アンケートの結果とも共通する。また、設問5は保護者アンケート結果とは異なる傾向を示した。これらの課題を真摯に受けとめ、保護者アンケート調査(2)(3)(4)に記述の改善に取り組み、教育活動の充実を図る。

## 3 総括

- (1) 教職員に対する評価は、保護者・生徒ともに肯定的な評価の割合が高い。しかし、学年・教科・部活動によって評価が分かれている。学校評価をもとに、学校全体で点検を行い、課題を明確にし、課題を共有した上で改善に取り組み、教員の資質・指導力の向上を図るとともにさらに充実した教育活動や学習環境の実現に取り組む。
- (2) 系統的なキャリア教育の実施と道徳・人権教育など他の教育内容と関連づけた教育活動に取り組み、心の教育や夢・目標の実現にむかって努力する力の育成を引き続き推進する必要がある。
- (3) 生徒たちは部活動に熱心に取り組んでいる。人づくりの視点に立った部活動の指導を充実させ、保護者の理解や協力を得る必要がある。
- (4) 施設設備の充実とともに、安全教育・防災教育の充実を継続させていく。
- (5) 学校のできごとなどを家族によく話す生徒の割合が昨年度よりさらに低下した。日常的な会話や学校生活・進路についての会話が、家庭で十分になされるようお願いしたい。
- (6) 情報モラル教育については、学校と家庭の連携が重要である。学校でも情報機器の使用に際しての人権侵害・防犯上の留意点等についての指導を継続して行う。家庭においても、携帯・PC等の情報機器の学校外での使用に対しては、家庭におけるルールづくりやフィルタリング等による管理が十分になされるようお願いしたい。

## 4 おわりに

保護者(82.5%)生徒(82.1%)と全体的には肯定的な評価が高く、家庭、地域、関係機関の協力を得て、「安心して学べ、確かな学力をつける学校」をめざして取り組んできたことの表れであると思われる。しかし、80%を越えていない項目や昨年に比べ減少した項目など課題もある。生徒・保護者の少数の意見にも耳を傾け、アンケートの意見欄の内容も含め真摯に受けとめ、学校の教育活動を改善し、すべての生徒が充実した学校生活を送れることをめざし取り組んでいく。